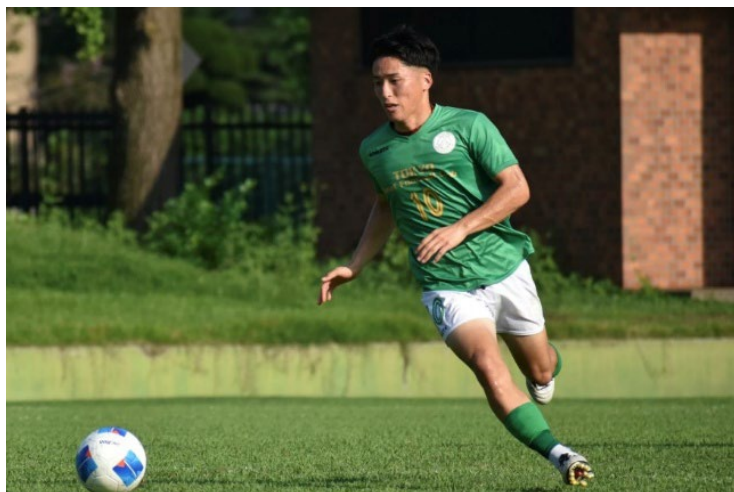


2026年4月に東京パワーテクノロジー入社予定の瀧澤 諒斗選手が 東京2025デフリンピック デフサッカー日本代表に内定

－ D&I推進の一環として、デフアスリートの活躍を支援 －

エネルギー分野を中心に幅広い事業を展開する東京パワーテクノロジー株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：本橋 準、以下当社）は、「多様な価値観や経験を有する人財の活躍が、新たな価値の創出に繋がる」という考えのもと、D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）を推進しています。

この度、2026年4月に当社入社予定の瀧澤 諒斗選手が東京2025デフリンピックにおけるデフサッカー日本代表メンバーに内定いたしました。瀧澤選手は、大学在学中よりデフサッカー日本代表として活躍しております。本大会での活躍はもちろん、今後の入社を見据えた支援体制も含め、当社は引き続き瀧澤選手を応援してまいります。



瀧澤選手からのコメント

このたび、2025東京デフリンピック・デフサッカー日本代表に選出いただき、大変光栄に思います。ここまで支えてくださった方々に心から感謝致します。

日本の誇りを胸に、一戦一戦全力で戦い抜き、世界の頂点を獲りにいきます！ 皆さん応援宜しくお願い致します！

【実績】

・2023年

第4回ろう者サッカー世界選手権大会 デフサッカー 2位

・2024年

第10回アジア太平洋ろう者競技大会 デフサッカー 1位



D&Iに関する取り組みについて



当社は「多様な価値観や経験を有する人財の活躍が、新たな価値の創出に繋がる」との考えのもと、「女性活躍・障がい者雇用」のさらなる推進、障がい者へのスポーツ支援等を通じた共生社会の実現など、企業価値の創造を目的に、アスリート支援の施策を行っております。その一環として、当社では門脇翠・長内智・北谷宏人の3人が所属し、内定者の瀧澤諒斗（2026年4月入社予定）を加えた4名のアスリートを支援しております。

所属アスリートは競技での活躍にとどまらず、社内外のイベントや情報発信を通じて、努力する姿勢や多様性を尊重する価値観を広め、障がい者スポーツへの理解促進や社内のダイバーシティ意識の向上にも貢献しています。当社は今後も、共生社会の実現に向けて取り組んでまいります。

東京パワーテクノロジーについて

会社名：東京パワーテクノロジー株式会社

代表者：代表取締役社長 本橋 準

本社所在地：〒135-0061 東京都江東区豊洲五丁目5番13号

設立日：2013年7月1日

事業内容：環境事業・火力産業プラント事業・原子力事業・土木建築事業・保険ソリューション事業等

当社URL：<https://www.tokyo-pt.co.jp>

当社アスリートサイトURL：<https://www.tokyo-pt-recruit.jp/athlete>

当社所属選手プロフィールについて

門脇 翠（デフリンピック日本代表内定種目：女子4×100mリレー、4×400m混合リレー）

【ATHLETE PROFILE】

競技種目 陸上（100m/200m）

出身 埼玉県

大学 筑波大学大学院

障害 感音性難聴

【STORY】

2歳で感音性難聴と診断され補聴器を装用。小学校時代をインドネシアで過ごし、帰国後に陸上と出会う。大学時代、第22回夏季デフリンピックにおいて100mと4×100mリレーの日本代表となり手話を学び、筑波大大学院修了後は福祉や運動指導に携わる。2017年の代表落選後は日本デフ陸上連盟理事として競技普及にも尽力。現在は当社に所属しつつ、東京2025デフリンピックでの優勝を目指し、競技と啓発活動を両立している。



北谷 宏人 (デフリンピック日本代表内定種目：男子棒高跳)

【ATHLETE PROFILE】

競技種目 陸上（棒高跳）

出身 大阪府

大学 大阪体育大学

障害 感音性難聴

【STORY】

生まれつき聴覚障害を持ち、高校で陸上を始め短距離から棒高跳びに転向。高校3年で日本デフ陸上選手権初優勝。大阪体育大学進学後の恩師との出会いにより、本格的に競技へ打ち込む。2022年開催の第24回夏季デフリンピックで金、翌年世界選手権で銀メダルを獲得。現在は当社に所属しながら競技と仕事を両立し、東京デフリンピック連覇とデファスリートとしての価値発信に挑んでいる。



長内 智 (デフリンピック日本代表内定種目：男子800m)

【ATHLETE PROFILE】

競技種目 陸上（400m/800m）

出身 千葉県

大学 国際武道大学

障害 感音性難聴

【STORY】

生まれつき感音性難聴を持ちながらも学生生活を送り、中学でバスケ部に入るが、団体競技の難しさから陸上へ転向。千葉県中学総体優勝や全国大会出場などの実績を持つ。大学卒業後は一度競技を離れるも、ショッピングモールでの勤務中に、お客様とのやり取りや館内アナウンスが聞こえず苦労した経験から、聴覚障がいへの理解を広めたいという思いが芽生え、再び陸上の世界へ戻る。デフ陸上に関心を持ち手話も習得。現在は当社に所属し、東京2025デフリンピックにおいて男子800mでの優勝を目指すとともに、講演や発信活動を通じて聴覚障がいや多様性の理解促進に取り組んでいる。



瀧澤 諒斗 (当社内々定者・デフリンピック日本代表内定種目：男子サッカー)

【ATHLETE PROFILE】

競技種目 サッカー（FW）

出身 千葉県

大学 亜細亜大学在学中

障害 感音性難聴

【STORY】

小学生からサッカーを始め、エンデバーFC、柏レイソルA.A野田、敬愛学園高等学校を経て亜細亜大学へ進学。13年以上の競技歴を持ち、ドリブル突破と泥臭いプレーでチームをけん引する。2023年、デフサッカー日本代表に最年少で選出され、デフサッカーワールドカップマレーシア大会での準優勝に貢献。2025年東京デフリンピックでの活躍を目指し、大学サッカーとデフサッカー日本代表の両立に挑む。自身の経験を通じて、障がいやマイノリティの人々に勇気を与えられる存在を目指している。

